

中部地域包括支援センターだより



住みなれた地域で暮らしていくために

中部地域包括支援センター（以下、中部包括）では、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師、看護師、生活支援コーディネーターが、地域で暮らす高齢者や家族・関係者のみなさんと連携し、介護予防など健康の向上、福祉の増進を包括的に支える地域づくりに取り組んでいます。



活動報告 おたがいSUNSUN ランチ開催

令和7年9月28日(日) 11:00～13:30

岩瀬にある「café Pei」で認知症の人が接客する1日限りのお店「おたがいSUNSUNランチ」を開催しました。この活動は認知症の方への理解を深めることと社会参加を目的にしています。お2人の方がホールスタッフとして大活躍。お客さんのもとに行き注文、配膳などを行いました。たとえ料理の注文を間違えても、料理が出てくるのが遅くても、おたがいさんの気持ちを合ことばに和やかな時間となりました。



参加されたお2人からは、「人の役に立てる喜びを感じられる瞬間でした」、「大変だったけどすごく楽しかった」、「やってよかった」と満面の笑みがこぼれていました。この日は2部制で22名の来客がありました。

私たちの
想い

「困ったときはおたがいさん!」は言った方も言われた方もほっこり温かい気持ちになります。支えている側が支えられていることもあると思います。誰もが社会に貢献できるように、これからもこの活動を続けていきたいと考えています。



Introduction

第2回地域ケア会議

令和7年10月17日(金)
18:30~20:00

伊勢市社会福祉協議会福祉センターで第2回地域ケア会議「おたがいさまの気持ちで暮らせる地域づくりを目指して」をテーマに開催し、民生委員・医療・介護の専門職等28名の方の参加がありました。支えられる側が遠慮せず、支える側が苦にならず、楽しく得意なことで続けられるような仕組みづくりについて話し合い、とても盛り上がりました。

参加者からは、「こんな困り事なら手伝える」などの意見もいただき、地域の支え合いを考える機会になりました。



知っていますか？ACP

ACPとは「アドバンス・ケア・プランニング」の略称で、もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、ご家族や医療・ケアチームなどと繰り返し話しあい、共有する取り組みのことです。

厚生労働省では11月30日を「人生会議の日」としてACPや人生の最終手段における医療・ケアを考え、周りの人と話し合うきっかけの日となるように取り組んでいます。

みなさまも一年に一回、ご家族と「人生会議」をしてみませんか。家族が集まる機会のある年末年始に考えてみてはいかがでしょうか。

ひとりで悩まず相談を

介護や健康、認知症のことなど、その他さまざまな悩みごとの相談に応じます。電話、訪問、来所などご希望の相談方法で対応させていただきます。相談は無料ですのでお気軽にご相談ください。

担当地域

尾上町／岡本／岩渕町／岩渕／吹上／河崎／船江／豊川町／本町／宮後／一之木／一志町／八日市場町／大世古／曾祢／神田久志本町／神久

〒516-0076 三重県伊勢市八日市場町13番1号 中部地域包括支援センター

TEL 0596-27-2424 / FAX 0596-27-2412

E-mail: iseshakyo-houkatu2@mie.email.ne.jp